

第2期 北海道創生総合戦略(改訂版・原案(事務局案))の概要

令和2(2020)年度
～令和6(2024)年度

めざす姿と取組の基本方向

めざす姿

幅広い世代が集い、つながり、心豊かに暮らせる包容力のある北海道

取組の基本方向

一人ひとりの希望をかなえる	安心して暮らせる豊かな地域をつくる	活力ある産業・雇用をつくる	多様な連携により地域の活力をつくる
---------------	-------------------	---------------	-------------------

戦略推進の基本方針

- | | |
|----------------|--|
| 1 基本認識の共有と全員参加 | 5 分野横断的な政策展開
二 SDGsの推進、ゼロカーボン北海道の実現 |
| 2 市町村戦略との一体的推進 | 6 ポストコロナを見据えた社会変革や行動変容への対応 |
| 3 札幌市との連携強化 | 7 施策の重点化 |
| 4 民間との連携・協働 | |

総合戦略の枠組み

重点戦略プロジェクト

北海道の人口減少対策の中核として、5年間の推進期間に政策資源を集中投入する施策群(概要は次頁)

基本戦略

- 一人ひとりの希望がかない、誰もが活躍できる社会
 - 安心して生み育てられる環境の整備
 - 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
 - 若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活躍
- 人口減少下においても、幸せに暮らし続けることのできる社会
 - 将来を見据えたまちづくり
 - 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
 - 地域を支える持続的な交通ネットワークの構築
 - 安全・安心な北海道づくり
 - 誰一人取り残さないデジタル化に向けた環境の整備**
- 北海道の優位性・独自性を活かして経済・産業が活性化し、いきいきと働ける社会
 - 魅力ある食の国内外への展開
 - 農林水産業の持続的成長
 - 「観光立国北海道」の再構築**
 - ものづくり産業をはじめ北海道の発展をリードする産業の振興
 - 地域経済を支える中小・小規模企業の振興
 - 道外・海外からの投資促進
 - 産業をけん引する人づくり
 - 働き方改革の推進
- 北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会
 - 移住・定住の促進
 - 外国人材の受入拡大と共生
 - 関係人口の創出・拡大
 - 航空ネットワークや北海道新幹線等を活用した新たな人の流れの創出
 - スポーツによる地域の振興
 - 北海道独自の歴史や文化の発信
- 地域創生を支える多様な連携
 - 自治体間の広域的な連携の促進
 - 多様な主体との連携体制の構築
 - 人口減少対策に関する札幌市との連携強化

地域戦略

魅力ある地域づくりや持続可能な地域づくりを進めるため、振興局が中心となって推進する施策や、振興局の区域を越えた広域連携による施策について、総合計画が示す政策の基本的方向に沿って策定する地域計画である「連携地域別政策展開方針」として提示し、地域戦略として位置づける。

市町村戦略支援

財政的支援

・地域に根ざした振興局事業や道と市町村による協働事業の実施、市町村が実施する事業に対する支援

・**企業版ふるさと納税の活用に向けた支援**

情報支援

・課題解決に向けた振興局と地域の関係者等との意見交換の実施、各種情報ツールを用いた情報提供・発信

・**特定地域づくり事業の認定、周知**

人的支援

・道職員の派遣や、地域創生総括を中心とした振興局職員の市町村戦略の検証、協議会等への参画など

重点戦略プロジェクトの概要

1 「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト — 人口減少社会に適応した地域づくり —

安心できる医療・福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 医師の地域偏在解消に向けた取組 ● 必要な医療や福祉を受けられる体制の構築 ● 多様な主体が交流し、支え合う拠点の整備 ● 児童家庭相談体制の充実 等 	住みよい生活環境の実現 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域子育て環境の整備、生活インフラの確保 ● 地域の買い物環境を守るための商業機能の確保 ● 集落や離島住民の生活利便性確保 等 	魅力ある教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道全体での学力や体力の向上 ● 主体的・対話的で深い学びの視点による授業展開 ● 遠隔授業やわかりやすい授業づくり ● 危機発生時における学びの確保 等 	広域連携等による行政サービスの最適化 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域を支える自治体間連携の推進 ● 社会変化等に対応したスマート自治体への転換 等
持続可能な地域産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ● 厳しい経営下にある日本海漁業の振興 ● 地域産業の経営力向上や事業継承・創業等の促進 等 	感染症対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 相談・検査・医療提供体制の充実 	地域を支える交通ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ● MaaSの展開など交通モード間の連携・補完による持続的な移動手段の確保 ● 地域交通空白エリアの交通手段確保 等 	

2 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト — 食や観光を中核としたしごとづくり —

「観光立国北海道」の再構築 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道スタイルの徹底などによる安全・安心の提供 ● 環境と共生する観光の推進 ● 富裕層向け商品・サービスの充実による質の向上 ● 道民による道内再発見、国内旅行の需要喚起 ● デジタル技術を活用した高い国際競争力を持った観光地づくりの推進 ● 滞在型観光の推進 ● 災害時の安全・安心に資する基盤の強化 等 	優位性を活かした産業の創造 <ul style="list-style-type: none"> ● 航空宇宙分野への参入促進や新たなビジネスの創出 ● 次世代自動車等関連ビジネスや自動運転の研究開発拠点化の促進 ● リスク分散先、新しい働き方の適地としての強み・潜在力を活かした投資促進・企業誘致 ● 本道のポテンシャルを活かした健康長寿関連産業の集積 ● 自然エネルギーを活かしたデータセンターの誘致 等 	魅力ある食の国内外への展開 <ul style="list-style-type: none"> ● 安定的な生産・供給体制の整備 ● ターゲットを定めた輸出品目の拡大・差別化 ● 北海道ブランドの浸透と市場拡大 ● 地域の食資源を活かした食関連企業の誘致 等 	一次産業の持続的成長 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境変化に対応した一次産業の振興 ● 安定供給や消費拡大、高付加価値化に向けた取組推進 等
--	---	---	--

3 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト — 北海道をけん引する人づくり —

これからの北海道をけん引 <ul style="list-style-type: none"> ● ふるさと教育の推進 ● 小中学校時代から働くことの魅力を伝えるインターンシップの実施 ● 地域の企業や産業を学び、地域で働く人材の育成 ● 未来の地域リーダーの育成 ● 若者の海外挑戦を官民協働で応援 等 	様々な分野をけん引 <ul style="list-style-type: none"> ● 「北の森づくり専門学院」をはじめとする人材育成機関による、各種産業を担う中核人材の育成・技能向上 ● 北海道が強みを持つ分野の高度人材の育成 ● 地域の基盤を支えるものづくり産業人材の育成 等 	あらゆる立場・世代がけん引 <ul style="list-style-type: none"> ● 女性やシニアがアクティブに活動できる環境づくり ● 障がいのある方に対する教育の充実、就労への支援 ● 福祉と一次産業、商工業の連携による就業促進 ● 外国人が安心して働き、暮らすことのできる環境づくり
--	---	--

4 「北海道らしい関係人口の創出・拡大」プロジェクト — ①~③に効果的に関わる関係人口の創出・拡大 —

きっかけ・入口 <ul style="list-style-type: none"> ● 応援団会議などを通じた関係人口の可視化の推進 ● 新たな関心層を含め積極的な情報発信やイベントなどによるきっかけづくり 等 	興味・関心 <ul style="list-style-type: none"> ● ふるさと納税などの活用推進 ● 観光リピーター増加に向けた取組 ● 自然環境を活かした体験型ツーリズム ● つながりをもつ情報の発信 等 	愛着・活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏企業のテレワーク拠点等地域拠点の設置 ● 関係機関と連携したプロモーションの実施など北海道型ワーケーションの普及・展開 ● 「札幌市民＝札幌市に住む道民」として道内市町村の関係人口を創出 等
--	--	--

5 「北海道 Society 5.0」プロジェクト — ①~③の施策を効率化し、効果を最大化 —

暮らしの質を高める <ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔医療の充実・遠隔授業の実施 ● ロボット技術の活用 ● MaaSの展開など交通モード間の連携・補完による持続的な移動手段の確保 ● ICTを活用した減災や被災地支援 ● 産学官でのデータ利活用 ● 行政手続きのオンライン化など市町村のデジタル化促進 等 	価値と魅力を高める <ul style="list-style-type: none"> ● テレワークの導入拡大 ● スマート農林水産業の展開 ● 積雪寒冷に対応した自動運転技術開発促進 ● AI、IoTなどを活用した生産性向上や新商品、新事業の創出 ● 新たな宇宙ビジネスの創出 ● 効果的な獣害対策の実施 等 	人づくりの効果を高める <ul style="list-style-type: none"> ● IoTの普及による知識や情報の共有、新たな価値の創造 ● 遠隔カンファレンスによる専門医師の診療支援等による技術向上 ● ICTを活用した分かりやすい授業 等
--	--	--